

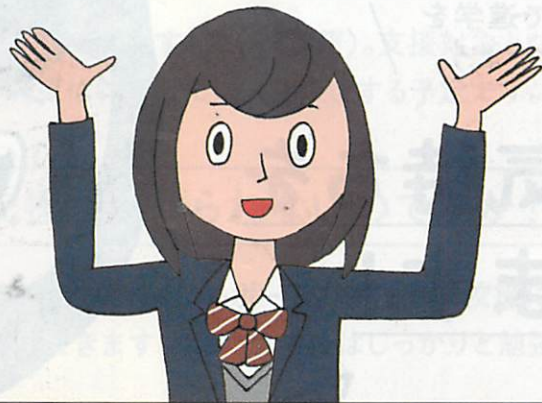
子供の進路を考えると、お金のことがちょっと気になる...

話しにくいけど、大切なことです。



給付型

そもそも奨学金には「給付型」と「貸与型」があります。



貸与型

くわしくはこちら

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/seido/index.html>

2020年4月に入学する人から

国の新しい修学支援制度が始まります!

家庭の経済事情に左右されずに、意欲のある子供たちが、社会で活躍する人材を育成できる大学等へ進学し、学ぶことができますようにします。

うちの子供も利用できるか調べなくちゃ



「給付型奨学金」の対象を拡充します

あわせて進学先の授業料・入学金も減免(免除or減額)されます

新しい制度の対象となる学校は?

大学・短期大学・高等専門学校(4年・5年)・専門学校

※学問追究と実践的教育のバランスがとれているか、など、一定の要件を満たした学校が対象

進学を希望している学校が対象になるか、夏以降に文部科学省のホームページで公表される予定です。確認しましょう。

どんな学生が対象になるの?



世帯収入の要件を満たしていること

住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯

基準を満たす世帯年収は家族構成により異なります。



進学先で学ぶ意欲のある学生であること

高校等の成績だけで判断せず、レポートなどで学修意欲を評価

進学後にしっかり勉強しなかった場合には支援が打ち切られます

[奨学金ミニ解説]

経済的理由で進学をあきらめてしまうことがないよう、日本学生支援機構(JASSO)は国の奨学金で学生等を支援しています。「給付型奨学金」も、返す必要がある「第一種奨学金」「第二種奨学金」も、生徒自身が申し込みます。支給されるのは入学してからで、学生本人の口座に振り込まれます。

どれくらい支援してもらえるの?

世帯収入や、国公立か私立か、自宅通学か自宅外通学か、で支援額が異なります。JASSOのサイトで試算をしてみましょう。

JASSOサイト内シミュレーションのページはこちら



世帯年収や学校種などによって額が変わるんだね。



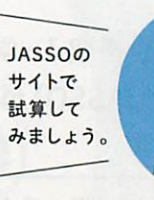
世帯収入



学校種
国公立/私立



自宅通学/自宅外通学



JASSOのサイトで試算してみましょう。

私立大学に進学し、自宅以外から通う場合

私立専門学校に進学し、自宅から通う場合

給付型奨学金	約91万円/年
支援額	
授業料	上限 約70万円/年
入学金	上限 約26万円

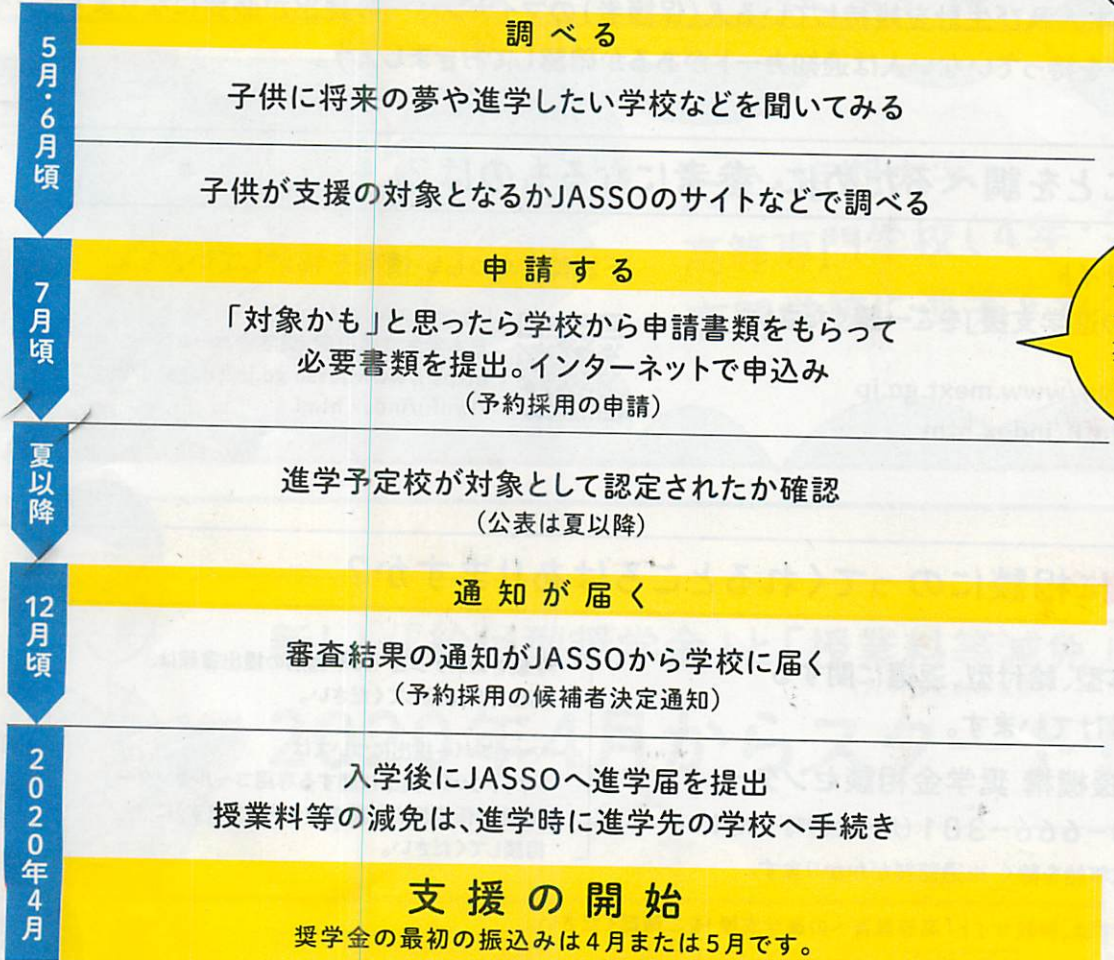
給付型奨学金	約46万円/年
支援額	
授業料	上限 約59万円/年
入学金	上限 約16万円

※住民税非課税世帯に準ずる世帯の学生への支援額は、上記の2/3又は1/3になります。

申請方法とスケジュール

2019年(高校3年生)にやっておきたいこと

申請はこの夏、本人がしてください



子供と保護者のマイナンバーの提出が必要です。早めに準備をしておきましょう。



※最新のスケジュールはJASSOのサイトで確認してください。